

多読の森図書館

1. 概要

“3原則”を頼りに、細々と英語多読を始めて、10年以上経ちました。

これから多読を始める方に、図書館や仲間のサポートが届けばと思います、2年前から県民講座でボランティア講師を始めました。

キャリーバッグひとつの、移動図書館を開設するまでの個人的な語学体験の記録です。

多読の森図書館
館長 森野きのこ

世界で
2番目に
小さい
移動図書館



2. 目的

これまで個人的に楽しみ、英語力向上の効果を実感している「英語多読」という方法を、英語学習に悩んでいる多くの方々と共有したい。

3. 方法

(1) 自分の語学体験を振り返り「多読でできるようになったこと」を再確認する。

(2) 県民講座「自遊塾」でボランティアとして多読の講座を開き、自分の経験を伝え、多読の効果と仲間との出会いを体験してもらう。

4. 結果

(1) わたしの語学体験を振り返る

中学時代...英語の成績は、まあまあ良かった。

高校時代...『まず、教科書の本文をノートに写して、わからない単語を調べて
予習してきなさい!』で、寝てしまう! 文法と丸暗記が苦手でした。

大学卒業時...教科書と参考書以外に**自分で選んだ英語の本を1冊も読んでいない**

- 1999年 ヒッポファミリークラブ入会...シャドウイングだけで言葉を覚えるのが新鮮!
ホームステイ経験 ○訪問...子連れ韓国2回、子連れオーストラリア1回
○受け入れ...多数(アメリカ、韓国、中国、マレーシア、オマーン)
(10年間継続後、退会)

「聴く」「話す」だけのヒッポに物足りなくなり「本を読んでみたく」になりました。

- 2003年頃 多読と出会い、現在も継続中

●多読のできるようになったこと!

- ・大学院進学、修了。
富山大学大学院教育学研究科学校教育学専攻 平成24年3月卒業
修士論文「日本の特別支援教育におけるGifted & Talented教育の可能性について」
- ・アメリカ単独教育視察。
- ・富山大学主催の公式シンポジウムで**通訳を務める!**(英検2級です)
- ・自遊塾で多読講座を開講する。
- ・**児童英語教師の資格を取得する(IIEEC 認定児童英語教師)平成27年**

(2) 県民講座『自遊塾』多読講座の試み

平成27年度... 英語多読講座を始める。

平成28年度... 昨年度の要望（大人だけで楽しみたい）を元に、2講座開設

「やさしい絵本からはじめる英語多読」

「楽しく続ける大人のための多聴多読」

「自遊塾」は、ボランティア講師による自主運営講座です。受講希望者は60代以上が多いですが、子ども連れ大歓迎の多読講座では、親子受講や、お孫さんとの受講も何組かあります。年に数回の開催ですが、昨年度から受講を継続してくださっている方もおられ、励みになります。

貸し出しは、公立図書館の利用を勧めています。富山県内では、多読初心者におすすめのORT等の洋書やGRがあまり導入されていないのが悩みです。



【学遊祭での展示発表】

(3) 多読講演会開催

平成28年2月28日（日）酒井邦秀先生をお招きして多読講演会を開きました。

目標60名！

無理、無理～と、周囲からは言われましたが、当日は60名ぴったりが参加して大盛況でした。

少し余ったお金で購入した洋書を地域の公立図書館に寄贈する予定でしたが、許可が下りなかったのので、マイクロ図書館を作ることになりました。

高岡市の学習室の一角に書棚を置かせていただけることになりました。

講演会で紹介していただいたこのシリーズを購入しました！

絵本から広がる英語の世界
～英語多読へのアプローチ～

お待ちせしました！
「多読3原則」の発明者であり、教室での多読指導の第一人者でもあるNPO多読多読 理事長 酒井邦秀氏の講演会です。

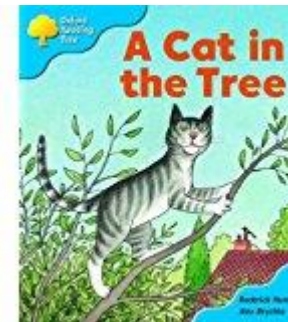
大人も、絵本から読ませよう！
英語を英語のままに理解することを目指しています。

スタートは、やさしい絵本から。大人も子どもも、自分のペースで楽しく、英語の海を泳げるようになります！

〈多読3原則とは…？〉
辞書は引かない、わからないところはばす、イヤになったらやめる！
「快読100万語！ペーパーバックへの道」より

1. 日 時 平成28年2月28日（日）(9:30～受付)
10:00～12:00 講 演
13:30～15:30 ワークショップ・シャドウイング講話
2. 場 所 ウイング・ウイング高岡7階 学習室
3. 講 師 酒井邦秀 氏 (NPO多読多読 理事長)
著書「快読100万語！ペーパーバックへの道」
共著「教室で読む英語100万語—多読授業のすすめ」(図書館多読への招待) 他 多数
4. 会 費 1,000円 (高校生以下無料・申込時にお伝え下さい)
5. 定 員 約60名
6. 主 催 高岡多読を楽しむ会
7. 後 援 高岡市 高岡市教育委員会 北日本新聞社
8. お問い合わせ・申し込み (事前に申し込みをお願いします)

mail : takaokatadoku@gmail.com
(氏名、メールアドレス、住所、電話番号を送信して下さい。受付確認メールを送ります。)



5. 考察

中学、高校、大学と、10年間、先生の言われたとおりに（できないこともありました...）英語の『学習』に取り組んできて、大学卒業時にまったく使い物になりませんでした。

これまで英語ができるようにならなかったのは、ずっと勉強しなかった、できなかった自分が悪いのだと思っていましたが、「多読」と出会って何かが変わりました。

もしかして、悪かったのは『勉強の仕方が間違っていた？』『自分に合っていなかった？』

今、『多読』は、私にとって「学習方法」ではなく、日本語の本を読むのと同じような趣味の一つになりました。英語の勉強がつまらなかった人にこそ『多読』をお勧めします。

**1冊読むと、楽しくなり、
10冊読むと、自信になり、
100冊読むと、人に紹介したくなり、
1000冊読むと、日本の英語教育を変えたくくなります。**

多読を10年間継続してきた、私の実感です。
どうか、皆さんも絵本を1冊、手にしてみてください。きっと、楽しくなりますよ！

●これから楽しみたいこと

富山県高岡市に『まちライブラリー』を開設し、ブックカフェを始める。
英語で「書くこと」クリエイティブ・ライティングに挑戦したい。